

愛南町柏の柏小学校の児童チームが「第21回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で、気象庁長官賞と佳作に選ばれた。2年連続で上位賞と応募全チームの入選を達成。子どもたちは取り組みの成果を喜び、大切な古里への思いを新たにしている。

愛南・柏小 全国コンクール今年も全組入選

同コンクールは、全国などが主催し、今回は4の小学生が町を歩いて見つけた防災・防犯・交通安全に関する情報をマップにまとめ、出来栄を競う。日本損害保険協会

たいへんよくできました



「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で全チームの入選を喜ぶ柏小児童

児童手作り防災マップ

生でつくる「柏防災イレブン」「柏守り隊」「早めのひなん呼びかけ隊」の3チームが出品した。災害時に役立つ情報の掲載だけでなく、昨年4月に愛南町で震度6弱を記録した地震の影響や前回のマップの認知度を調べ、講じた対策や改善策の提案を行った。

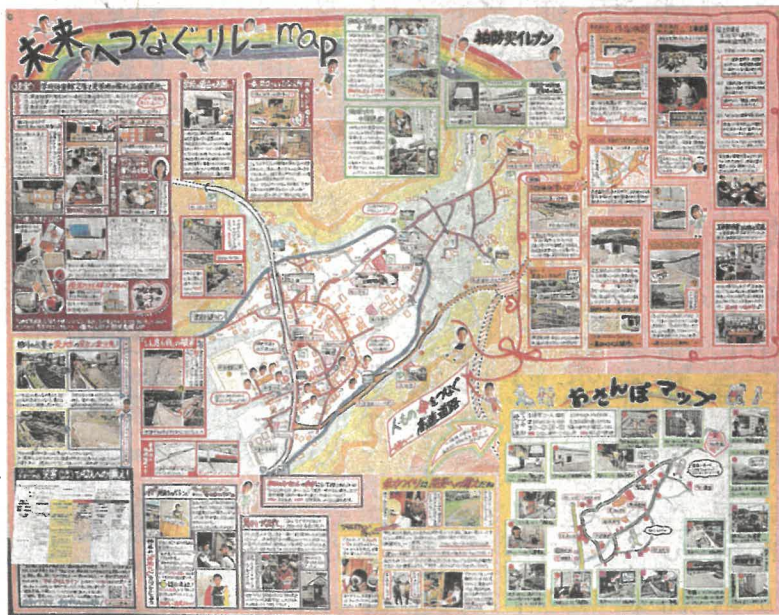
気象庁長官賞を受賞した柏防災イレブンは、住民への聞き取り調査で避難には体力が必要になる

課題や対策提案 高評価

と発見。体力づくりと併せて避難場所や自動体外式除細動器（AED）の設置場所を確認できる散歩コースを考案し、高齢者に提供したことも高く評価された。

2月25日に同校で表彰式があり、各チームに賞状が贈られた。柏防災イレブンの6年戸高結月さん（12）は「協力してくれたすべての人に心から感謝を」とお礼を述べ、6年高橋玄輝さん（12）は「活動を通じて地域のつながりや団結力を感じることができた。これからも災害に強い柏を目指したい」と思いを語った。

児童の熱意が行政を動かし、避難誘導看板の設置なども実現した。前田和美校長は「子どもは地域の宝といわれるが、柏小に関しては地域も子どもたちの宝。子どもたちには受賞を地域の方とともに歩んだ成果として誇りに思い、さらなる成長につなげてほしい」と願った。（山本憲太郎）



気象庁長官賞を受賞した「柏防災イレブン」のマップ